

過去の事例から学ぶ

BCP＝Business Continuity Plan（事業継続計画）

大地震等によって「組織全体の操業度が著しく低下し、復旧まで時間がかかる局面」を前提に、可能な限り早急に本格復旧ができるよう事前に対策等を整理する計画

BCPセミナー開催のご案内

BCPの策定・運用は、緊急事態に遭った場合、「企業が生き抜くための準備」として有効です。

新型コロナウイルス、地震、集中豪雨など感染症や災害に備える必要性が高まるなか、企業におけるBCP（事業継続計画）の策定はますます重要となっています。本セミナーではBCP策定の重要性を分かり易く解説します。

特徴

- ①過去の事例から教訓を提示 → BCP策定の際に押さえるべきポイントがつかめます
- ②宮城県における自然災害リスクを提示 → BCP策定の必要性を再認識いただけます
- ③自社でリスクを調査する際のコツを提示 → 上記②を自身で整理できるようになります
- ④BCP策定の全体像を提示 → 「やるべきこと＝ゴール」が認識できます
- ⑤BCPとして整備すべき順番を提示 → 「何からやるべきか」が認識できます

日時

令和4年8月4日（木） 10：00～11：30

場所

オンライン形式（Webex Meetings）※参加申込みいただいた方に、接続URLを送付します

定員

50名

お申込み方法

裏面の受講申込書にご記入の上、FAXでお申込み下さい。
（用紙は、ご案内担当者にお渡しいただいても結構です）

参加費無料

申込み期限

令和4年7月28日（木） ※先着順で定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

講演内容

Ⅰ.過去の事例から学ぶ教訓

過去の大災害時における企業の対応事例等を分析のうえ、BCP整備における「過去の教訓」を整理します。

Ⅱ.宮城県におけるBCP整備の必要性

宮城県に関連するハザードマップを分析したうえで、BCPとして考慮すべき災害を特定し、想定被害の概略等を紹介します。

Ⅲ.習熟度に応じたBCPポイント

「BCPゼロ状態を早急に脱却すること」が、重大な教訓のひとつであることを踏まえ、BCP整備の習熟度に応じて取り組むべきポイントを提示します。

これにより、BCP未策定の企業は、短期間で簡単にBCPゼロ状態を脱却できます。

（注）上記プログラムは変更になる可能性があります。予めご了承ください。

講師

MS&ADインターリスク総研株式会社 リスクマネジメント第四部 BCMコンサルタント

お問合せ先

宮城県経済商工観光部 中小企業支援室 経営支援班 TEL:022-211-2742（担当：三浦）
三井住友海上火災保険株式会社 仙台支店・仙台第三支社 TEL:050-3738-6587（担当：植田）
MS&ADインターリスク総研株式会社 リスクマネジメント第四部 事業継続マネジメント第一グループ
TEL:03-5296-8918（担当：石川・岡村）

FAX 022-211-2749

■オープンセミナー■

過去の事例から学ぶ BCPセミナー

※本紙 1 枚で 2 名様までご記入（お申込）いただけます。

<FAX専用>
受講申込書

貴社名		
部署名		
お電話番号		
FAX番号		
ご住所	〒 -	
お申込情報	お申込①	お申込②
フリガナ		
ご氏名		
お役職		
メールアドレス※		

※後日、接続用URLを送付いたしますので、必ずメールアドレスをご記入ください。

【個人情報のお取り扱いについて】
申込書に記載いただきましたお客さまの情報は、今後のBCPセミナー等に関するご案内に使用することがあります。

<事務局記入欄>			
窓口団体／企業	所属名	担当者名	外線番号